

「おーいお茶を」を10代～20代の購買No.1にするためのプロモーション企画提案

ストーリー

今現状伊藤園が抱えている問題。おーいお茶は世界で一番飲まれている緑茶飲料。なのに10代～20代に対しては実際に厳しい状況にあるというのが現状で、そこに対するターゲット層にあたる学生たちはどうしたら買うのかそれを提案する課題。

ポイント

- ・うちらの世代って贅沢すぎる
- ・味<価格
- ・パッケージなど変えることはしない
- ・こころに刺さる事

企業名	伊藤園
ターゲット	10代～20代
制作物	プロモーション企画

00 Start 僕の言いたいことはここに全て

■役員のこころに刺したエッセイ

小学校の1年間
長いように見えて短いと思う
みしながら遠足に行つた。
友だちと森の中に入り虫取りをしていた
カブトムシを捕まえた後に飲むお茶は
格別に美味しかつた。
たかなししようへい

01 おーいお茶
僕の記憶が覚えている。

書初め
何度もミスしたけど
おばあちゃんが出してくれた
お茶が心を温めてくれた

合唱コンクール
声を枯らしながら練習した
その時に飲んだお茶は
染みわたる味だった

運動会
飲んだお茶が僕たちの
応援の力になつてた

普段より苦がつた気がする

アーチルの授業
ほかの子とあのうが話していて
あの時飲んだお茶の味は
普段より苦がつた気がする



ちょっとした事だとしてもそれが理由になってくれれば嬉しい

01 Research

なんでおーいお茶は若い世代に売れていないのか

自分たちの世代って便利になりすぎたよねって話。ひと昔前なら蓋が閉められて運べるってだけで売れたのに今はそうじゃない。コモディティ化ってやつですよね。これ今回のお茶だけではなく他の商品でも今後どんどんそうなっていくと思うので今回経験出来て良かったです。



何故?
答え、こだわりがない

自分たち俗に言うZ世代はペットボトルで飲み物を買えるのが当たり前であるから

わざわざお茶買わん
お茶の味は確かに各メーカー違う
しかし若者はそこではなく値段を見る

02 Research

逆に何故40代50代には売れているのか

お茶を買う理由は人それぞれ。どうして若者が買わないのかと考えた時、逆に親世代の買う理由も探してみるとことにした。当時の飲み物の状況を現代と比較できるようにすることで、何かわかるの事があるのでは?と思い販売時期などを求めるとともに他飲み物についても調べました。

結論いま便利って感じ

なんで自分たちの親世代は購入するのか

解決の糸口はここにあると考えた

当時の飲み物事情



1985年
初の缶のお茶

お茶を外でお金をして
飲む文化がない



1989年
お~いお茶になる

しかし
このような状況でも
伊藤園は販売した

初めてのうちは厳しかったが...



1990年
世界初のPET入り
のお茶が売られる

おーいお茶に名前が
変更されてから売れるよう

そして世界で初めての
PETのお茶が誕生した

03 Research 習慣ってありますよね

自分たちの世代って便利になりすぎたよねって話。ひと昔前なら蓋が閉められて運べるってだけで売れたのに今はそうじゃない。コモディティ化ってやつですよね。これ今回のお茶だけはなく他の商品でも今後どんどんそうなっていくと思うので今回経験出来て良かったです。



何故親たちの年齢層が買ってるのか
それは、いつも飲んでいたから

当時はお茶の PET や外で買えるものがおーいお茶だけであったためそれを飲んでいた。だから習慣的に今もおーいお茶を手に取っているのではないかと考えた。

04 Conclusion これは私たちの世代にも言える事

実際に自分がそう。初めて iPhone 買ってから 4 回くらい変えたけど iPhone を使っています。馴染んでるんですよね。

例えばどんな事？

それは、スマートフォン

私が考えるに初めに持った機種が iPhone なら今も iPhone android なら android を今も使っている人多いんじゃないかな。

05 Conclusion 簡単にいうと日常の思い出の中にあるかないか

ほんの少しでも今の若い世代が買ってくれる理由を作りたい。緑茶を買えることを当たり前にした伊藤園が今の若者の日常に当たり前のようになつたお茶を思い出してもらい。買うきっかけを作る。

おーいお茶が日常の思い出の中にある。

このことがなんかしらの形で表現できれば
買うきっかけになるのではないかと考えた

06 Promotion 原点茶

自分たちの世代が学校行事や日常生活の中でおーいお茶は当たり前のようにあり飲んでいた。その日本人の原体験に訴えかけ購買に繋げる企画提案です。

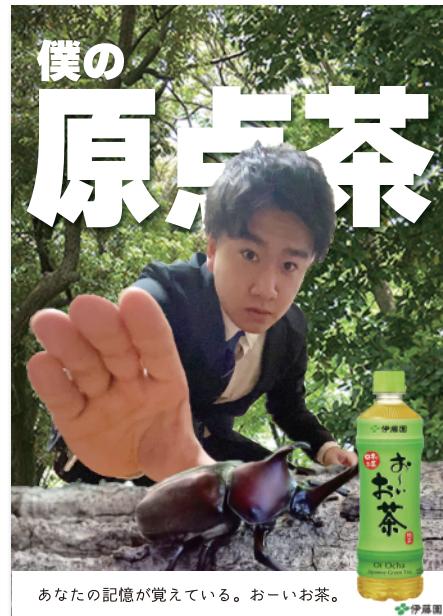
日本人の原体験に訴えかける飲み物

原点茶

日本人の原体験に訴えかける
企画を当たり前を作った伊藤園が作る

07 Design 虫取りや運動会のイメージポスター作成アプリ作成

自分たちの世代って便利になりすぎたよねって話。ひと昔前なら蓋が閉められて運べるってだけで売れたのに今はそうじゃない。コモディティ化ってやつですね。これ今回のお茶だけではなく他の商品でも今後どんどんそうなっていくと思うので今回経験出来て良かったです。



思い出を想起させる

大きくなった時にそう
いえば小さい頃こんな
ことしてたよねのよう
に思い出して貰えるよ
う考え作成しました。



応援の力になつていた

合唱コンクール

声を枯らしながら練習した
その時に飲んだお茶は
染みわたる味だった

書初め

何度もミスしたけど
おばあちゃんが出してくれた
お茶が心を温めてくれた

おーいお茶
僕の記憶が覚えている。



小学校の一年間

長いように見えて短いと思う

たかなし しょうへい

みんなで遠足に行つた。

友だちと森の中に入り虫取りをしていた
カブトムシを捕まえた後に飲むお茶は
格別に美味しいかった。

プールの授業

ほかの子とあの子が話していて
あの時飲んだお茶の味は
普段より苦かつた気がする



運動会
飲んだお茶が僕たちの



08 Design CM イメージ絵コンテ

山の中で 20 代の若い会社員がスーツで虫取りをしていて、今日の前の虫を捕まえようとしている。



そーとそーと

しかし捕まえられず周りの友達に何してんだよ
みたいに馬鹿にされるその後に汗を額の汗を
腕でぬぐいながら水筒のお茶を飲む。
その時に、名前を呼ばれる声がする



逃げるなよ～

場面が変わり会社のオフィスに上司に名前を
呼ばれて現実に戻り取引先に遅れるぞと言われ
すいませんと謝りながらゲームをやめバッグと
おーいお茶のボトルをもって上司についていく



〇〇！〇〇！聞いてんのか〇〇！
あっすいません今行きます。

子どものころの自分の回想の写真が入り



(といえば小さい時も飲んでたなー)

最後に会議が終わりおーいお茶を開け一口飲み



あー

最後に

「あなたの記憶が覚えている」
とコピーが流れ伊藤園のロゴが流れ終了



僕の記憶が覚えている
原点茶
おーいお茶

09 adoption アイデアを採用して頂きました

■伊藤園公式noteキャンペーン企画

- 1.概要 :お茶と夏の思い出話3点を「夏のお茶イイ話」に認定。3名様に「お~いお茶暑い夏にちょっと嬉しいお茶セット」をプレゼント
- 2.募集期間:6月13日(月)23:59まで
- 3.結果発表:2022年7月4日(月)
※伊藤園公式noteアカウント「お~いお茶裏ばなし」にて発表
- 4.応募方法:
 - ・noteアカウントで会員登録
 - ・伊藤園公式noteアカウントをフォロー
 - ・ハッシュタグ「#夏のお茶イイ話」「#お茶と夏の思い出」「#お~いお茶と初夏の思い出」のいずれかを設定して記事を投稿

■伊藤園公式noteキャンペーン企画



福集部がお客様から伺った「お~いお茶と私」思い出の中から夏らしいお話
の一部をご紹介



島平（しょうへい）さん

「お~いお茶 暑い夏にちょっと嬉しいお茶セット」が当たる！投稿キャンペーン
開催！

♡12
お~いお茶裏ばなし
2022年6月10日12:00

暑い夏がやってくる！！「#夏のお茶イイ話」
「#お茶と夏の思い出」「#お~いお茶と初夏の
思い出」を募集します！

さて、伊藤園公式note「お~いお茶裏ばなし」を始めて、もうすぐ半年。
「お~いお茶」の開発秘話や、お茶への偏愛たっぷりエピソードなどをご紹
介してきました。お読みいただき、ありがとうございます！皆様からいただいた
いた「スキ」も、とっても励みになっています！

小学校の1年間。長いように見えて短いと思う。友だちと森の中で虫取り。
カブトムシを捕まえた後に飲む。勝利のお茶。格別においしかった。

ブルの授業。あの子が他の子と話してる。あの時飲んだ「お~いお茶」。
いつもより、ちょっぴり香った。

僕の記憶が覚えている。「お~いお茶」

【島平（しょうへい）専門学校2年生】